



# JHPの活動・歩み

JHPは、戦争や自然災害で教育の機会を奪われた世界の子供達に、人種、国籍、宗教、その他の信条の違いにかかわらず広く教育等の援助を行ない、また紛争や自然災害による被災地・被災者への救援活動と、これらの活動を通じて次代を担う若者達への地球市民教育を実践することを目的とする認定NPO団体です。

## 設立経緯

- 1991年、JHPの前身であるJIRACとして湾岸戦争後に取り残されたクルド難民の救援をはじめて学生達とイランで実施した。
- 同年12月、小山内美江子と二谷英明らがカンボジア難民救援のため、タイ国境キャンプを視察し準備に入る。
- 1992～93年、タイ国境からのカンボジア帰還難民救援活動の中から、子どもたちのための学校建設の必要性を把握。
- 1993年9月15日にJIRACの中から「カンボジアのこどもに学校をつくる会」を設立。
- 1997年4月より会費会員制に移行して、「JHP・学校をつくる会」に改称。
- 2000年10月に東京都より特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受け、11月に登記完了。
- 2004年1月1日に日本で19番目に国税庁より認定NPO法人の認定を受けた。

1993	カンボジア活動隊派遣開始(以後年2～3回を継続)
1994	JEN設立に代表小山内が参画。駐在員1名をユーゴスラビアへ派遣
1995	阪神淡路大震災発生。当日から救援活動開始 カンボジアにプノンペン事務所設置、旧ユーゴスラビア隊を定期的に派遣
1996	音楽教育プロジェクト開始。カンボジアに音楽教師1名派遣 アフリカに毛布を送る運動の構成団体として学生の現地派遣開始
1997	地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)の構成団体となる。
1998	カンボジア教育省とNGO活動の合意書を結ぶ
1999	美術教育プロジェクト開始。日本人教師1名派遣。初の絵画展を開催
2000	プノンペン市認定の音楽教師7名を誕生させる。
2001	JENの構成団体としてインド地震救援隊4名派遣、テントなどを支援。 カンボジア王国と覚書を交わし正式なNGOに認められる。
2002	ユニセフと合同でアフガニスタン支援実施。駐在員1名派遣 JHP初の孤児院完成。CCH(幸せの子どもの家)支援開始。
2003	JHP初のラオス校舎完成、ボスニア活動隊4名派遣、カンボジアには 100棟目の校舎完成。
2004	新潟水害、中越地震の支援活動実施
2005	カンボジアにて第1回音楽コンテスト実施(以後年1回実施) 三宅島帰島ボランティア支援活動に参加
2006	JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金スタート 小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ開講 代表小山内がカンボジア王国よりモニサラボン大十字勲章受賞
2007	設立15周年記念祝賀会を開催。マーチングバンド、CCHの子どもが来日出演
2008	1人1万円の呼びかけで631人が寄付参加するユニークな考えが成功し 200棟記念校舎が完成。 代表小山内が第20回毎日国際交流賞を受賞
2009	国際ボランティア・カレッジが第3回浄土宗共生(ともいき)・地域文化大賞 新たな支援対象国の候補としてネパール調査を実施
2010	アカウンティビリティ・セルフチェック2008を実施(詳細はP.31を参照) 学校建設の実績が250棟を超える。
2011	東日本大震災発生(3月11日)。仙台市若林区、南三陸町にて支援活動を行う。



# 2011年度 事業計画書

# 2010年度 事業報告書

## 目次

P. 2	JHPの活動/歩み
P. 3	ごあいさつ
P. 4-6	学校建設
P. 7-9	教育支援(音楽)
P. 10-11	教育支援(美術)
P. 12-13	教育支援(事業評価)
P. 14	教育支援(支援物資)
P. 15	教育支援(CCH)
P. 16	ボランティア派遣
P. 17-18	啓蒙事業
P. 19	国際ボランティア・カレッジ
P. 20-21	組織運営
P. 22-23	2010年度 会計報告
P. 24	2010年度 事業評価
P. 25-28	2011年度 事業計画
P. 29	2011年度 収支予算
P. 30	組織概要



## ごあいさつ

皆さま、日ごろ全国各地から寄せられる温かいサポートに心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

本年の総会を前にして、2010年度の活動を振り返っておりましたらば、突如世界中をゆるがす超巨大地震が発生。続いて牙をむいた津波が数え切れない尊い命を奪い、更に原発事故が多くの人々を苦しめています。皆さまの身近な方にも被災された方がおられるのではないのでしょうか。この場を借りて心よりお見舞いを申し上げます。

私共JHPは、3月14日以降救援募金を開始し、支援隊を現地へ送る準備をしている間に、200万円を超す支援募金が次々と集まり、感謝と感動を胸に抱き、第一次隊を仙台市若林区へ向け、第二次隊以降は南三陸町を拠点に災害ボランティアセンターの立ち上げや運営に関わり、当会の若ものを途切れることなく誠意とパワーを持って活動を進めておりますので、5月28日の会員総会では、震災関連の詳細報告させていただきます。ぜひご参集ください。

JHPは、1993年9月の設立から今年9月で19年目に入ります。その間、「できることから始めよう」という呼びかけにご賛同いただき、JHPは、少しずつ活動の輪を広げて参りました。

それにしても、設立当初に支援したカンボジアの子どもたちは、既に30歳前後となり、家庭を築き我が子の教育について心配する世代になっているはず。そんな時、JHPの校舎で学んだ子ども時代を思い出し、親の義務を果たしてもらえたら何よりの喜びです。

2010年度の活動は、学校建設が265棟を超え、ネパール支援の基盤を整備することができました。また、心を育む音楽、美術、衛生支援では、JICAのアドバイザー派遣によって内部評価を行いました。運営面は中長期計画の作成が年度内にできませんでしたが、音楽事業が船頭役となりその他の事業の立案にもよい動きが波及しており、2011年12月には完成する予定であります。

2011年度は、長期化が予想される震災活動に対応しながら、海外ではネパールでの校舎建設の実現が大きな目標となります。更に、カンボジア隊を経験した学生が自主的に活動を盛り上げていることを心強く思っています。カレッジ受講生の今後についても、皆さまのご支援の成果として、国内外の活躍状況を共有したいと考えております。

世界の子ども達と共に、日本の若者たちを育てるJHPの活動は、まさに第二世代に引き継ぐ段階に入ってきたことを実感するこの頃です。

本年も、「見やすく、分かりやすく」をテーマに2010年度事業報告書と2011年度の事業計画書が完成いたしました。JHPの教育支援の成果と計画について、多くの皆さまのご意見、ご感想をお待ち申し上げます。

本来、皆さまにお会いして直接にお礼とご報告をしなければなりません。毎年この場でのあいさつに代えさせていただいております。また本報告書には学校建設をはじめとしたご支援者の皆さまのお名前は紙面の都合で割愛させていただいております。すべての皆さまの温かいご支援に心より感謝を申し上げます。2011年度はJHPの行事で皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

小山内美江子